

会 議 録

会 議 の 名 称	令和5年度 新座市子どもの放課後居場所づくり事業 運営委員会（第1回）
開 催 日 時	令和5年5月24日（水） 午前9時30分から10時35分まで
開 催 場 所	新座市役所本庁舎3階 303・304会議室
出 席 者	<p>金子 廣志 齋藤 寿美子 梅田 竜平 清水 由紀子 石田 和子 結城 美千代 田中 まどか 山岸 大和 小田 一世 渡辺 央枝 大橋 多香子 伊藤 好治 清水 達也 山崎 孝雄 岸野 健太郎 金子 啓一</p> <p style="text-align: right;">計16名</p>
事 務 局 職 員	生涯学習スポーツ課 渡邊副課長 藤田主任 福田主事 分須主事 武嶋
会 議 内 容	<p>1 開会 2 挨拶 3 新任委員の紹介 4 議事 (1) 令和4年度事業報告について (2) 令和5年度事業計画について (3) 令和5年度運営状況について (4) 令和5年度事業実施における課題等について (5) その他 5 閉会</p>
会 議 資 料	次第資料
そ の 他 の 必 要 事 項	欠席委員 小野 光 <p style="text-align: right;">計1名</p>

審 議 の 内 容 (審議経過、結論等)

1 開会 (司会：分須主事)

2 挨拶 (金子教育長)

3 新任委員の紹介 (分須主事)

本運営委員会の皆様の任期は、令和6年3月31日までとなっているが、人事異動や団体の役員交代等により委員に変更が生じたため、新たに委員となられた方々の紹介をした。

(委員の呼名紹介)

運営委員会設置要綱第6条の規定により、これ以降の議事進行を金子委員長にお願いした。

4 議事

(1) 令和4年度事業報告について (説明：福田主事) (資料4～5頁)
資料のとおり事業報告を行った。

(2) 令和5年度事業計画について (説明：福田主事) (資料6～7頁)
資料のとおり事業計画について説明した。

(3) 令和5年度運営状況について (説明：藤田主任)

令和5年4月末日現在の学年別登録者数及び4月の参加人数について資料のとおり説明した。(資料8～12頁)

登録者数、参加人数共に昨年度より増加している。また、懇談会の日は東野・東北・野寺・大和田で参加が100名を超えた。

令和4年度の活動状況について、各ココフレンドからの報告を資料に掲載した。(資料13～17頁)

委員長 参加人数が100名を超えているココフレンドがある。懇談会等で参加人数が多い時はどのような対応をしているのか。

石神ココフレンド 懇談会等で参加人数が多くなると予想される日には、スタッフを多く配置している。また学校に特別教室をお借りするなど、場所の確保をしている。1年生が学校生活に慣れていない4月は、多目的ホールでDVD鑑賞をすることもある。子どもたちが安全に過ごせるように工夫している。

委員 東北ココフレンドでは4月の低学年の授業参観懇談会の日には126名の参加があった。高学年は授業中のため体育館が使用できず、図書室をお貸しした。参加人数が多い日にはスタッフの人数が足りず、十分な対応ができない、とコーディネーターから聞いている。

委員 全17小学校でココフレンドを実施しているため、全体的に人材が不足している。各町内会に協力をお願いをしているところであるが、さらなる協力をお願いしたい。また、現在ココフレンドでのトランシーバーの導入を検討しており、一部で試験的な運用を始めている。放課後児童保育室では既に使用しているということなので、参考にしながら今後全ココフレンドでの運用を進めていきたいと考えている。

委員長 特に低学年の保護者会等が予定されている日には参加人数が非常に増えるということは明らかである。学校と調整して場所の確保をお願いするとともに、事務局にスタッフの増員を要請するなどの対応をしていただきたい。また、活動中にスタッフ間で連絡を取り合えるような環境作りも必要である。実証実験を経て、今後全校でトランシーバーを設置できるように考えている。

○ 令和5年度運営状況について石神、新開及び野火止ココフレンドコーディネーターから報告した。

〈石神ココフレンド〉

- ・ 登録人数、参加人数ともに増えてきており、特に1、2年生の参加が多い。学習内容が変わってきているためか、3年生以上の参加は減ってきている。
- ・ 今年度日課が変わり、ココフレンドに参加する時間も早まった。自由遊びの時間が増え、子どもたちはとても楽しそうに過ごしている。1年生は学校の生活にも慣れ、上級生にいろいろ教えてもらいながら成長している。
- ・ 支援学級の児童が3名参加しており、1名は車椅子を使用している。少しでも子どもたちと遊べるよう保護者と相談をしている。
- ・ 石神ココフレンドでは、スタッフが皆、子どもたちのことを大切に思い、和気あいあいと活動しているが、スタッフの高齢化が課題となってきた。

〈新開ココフレンド〉

- ・ 今年度から新開ココフレンドは市直営から委託運営になった。
- ・ 日々47、8名の参加があり、受付業務などでのスタッフのスキルを上げることが必要になった。高齢のスタッフが多いが、少しずつ慣れ、対応できるようになってきている。
- ・ 特別な配慮が必要な児童が5名ほど参加している。それぞれの児童への対応について、スタッフと毎日確認している。
- ・ 委託化され、スタッフの賃金が上がったことはメリットの1つ。
- ・ 委託化によりコーディネーターとしての職務が変わり、当初は対応の切替えに戸惑いや不安があった。しかし、委託先との話し合いにより、現在は順調に運営できている。

〈野火止ココフレンド〉

- ・ 4月は教室にも入れなかったような子が、1年経つと下の子の面倒を見るくらいに成長した姿が見られる。
- ・ 特別な配慮が必要な児童が参加しており、保護者の方に対応を相談したところ、保護者の方も対応に悩まれているということだった。どんな子も参加できるココフレンドにするため、特別な配慮が必要な児童の対応は今後の課題である。
- ・ 野火止ココフレンドはコロナ禍に開設されたので、これまで参加人数が少なく、子どもたちはスタッフと遊ぶ事が多かった。今年度は、早く来室する1年生は先に遊び、学習時間を2、3年生の学習時間に合わせてみたところ、皆が落ち着いて学習に取り組めた。また、子どもたち同士で誘い合って遊べるようになった。
- ・ スタッフの提案で、「心を静める音楽」を流してみたところ、きちん

と着席するようになった。言葉で指示するだけでなく、音楽も有効であると感じている。いろいろと工夫しているところである。

委員長 集団生活にどうしても適応できない子どもたちの対応については、市の教育相談室に相談員やカウンセラーが常駐しているので、事務局に連絡し、相談していただきたい。

委員 夏休みは参加児童が増え、活動時間も長くなる。スタッフの負担が大きくならないよう、スタッフの人数を増やしていただきたい。

事務局 直営校の場合、ココフレンドによって異なるが、10～20名のスタッフが登録している。夏休み前に改めて各ココフレンドに確認し、不足している場合は町内会を通じて新規のスタッフを募集したい。

委員 通常はコーディネーター1～2名、スタッフ5～6名の体制だが、保護者会等がある日には増員しなくてはならない。しかし、全体のスタッフ登録数は各ココフレンドで10数名程度であり、2日に1回程度活動していただくことになる。また夏休みには活動時間も長くなる。学校・家庭・地域の連携事業であるので、町内会の皆様に御協力をお願いしたい。

委員 町内会の役員会で相談したい。

委員長 子どもたちを地域で育てていこうという事業なので、町内会の方々に御協力いただきながら運営していきたい。また、コロナ禍が明けて初めての夏休みを迎えるので、参加児童がどのくらい増えるのか予想がつかない。事務局としては万全の体制で進めていきたいと考えている。

(4) 令和5年度事業実施における課題等について（説明：藤田主任）（資料18頁）

資料について説明した。

- ・ 今年度は夏季休業中に市内6中学校で、体育館のエアコン設置工事が予定されているため、近隣の小学校の体育館でココフレンドと使用時間を区切って中学生が部活動をする予定である。また、第二中学校については校舎の長寿命化改修工事が行われるため、校庭や室内で活動する部活動等も近隣の小学校の校庭や特別教室を使用する予定である。そのため、ココフレンドの校庭と体育館の使用は午前10時30分までということで調整している。

野火止ココフレンド ココフレンドの参加カードには「活動に支障をきたす場合は参加をご遠慮いただく場合がある」と書かれている。他自治体の放課後子ども教室の案内には、「特別な配慮ができない」と明記されているものもある。放課後子ども教室では対応できるスタッフに限りがあるので、保護者の理解や協力が必要であり、課題でもある。一方、そのような児童にとって、ココフレンドは居場所になっているのだとも思う。現在、野火止ココフレンドでは配慮が必要な児童には、スタッフが1名付いて対応している。

委員長 学校ではきめ細かいサポートをしているが、ココフレンドは限られたスタッフで、限られた場所で活動している。原則として、ココフレンドは一人ひとりにケアはできないということを保護者にも理解してもらう必要はある。一方、ココフレンドに参加している児

童にとって居場所でもあるので、学校と協力したり、教育相談室に相談するなどしていただきたい。

石神ココフレンド 車椅子の児童が参加しているが、必ず介助員の方が連れてきてくれ、連絡や情報交換をしている。ココフレンドでは慣れたスタッフが付いている。

学級数が増え、手のかかる児童も多くなったように感じる。スタッフ間で対応についての共通認識を持てるようにスタッフミーティングで情報交換している。

委員長 日本語がわからない児童に対し、何か国語にも対応できる翻訳機を使っている学校がある。どうしても必要がある場合はココフレンドでも導入を検討する。

委員長 ある特定の能力だけが著しく欠如している学習障がいの児童が増えている。何かあれば事務局に相談していただきたい。

- (5) その他
特になし

5 閉会（分須主事）